

○ 事業の概要

1. 事業名

令和3年度（2021年度）地域生涯学習活動実践交流セミナー

2. 開催日時

令和4年（2022年）2月15日（火）12:20～17:00

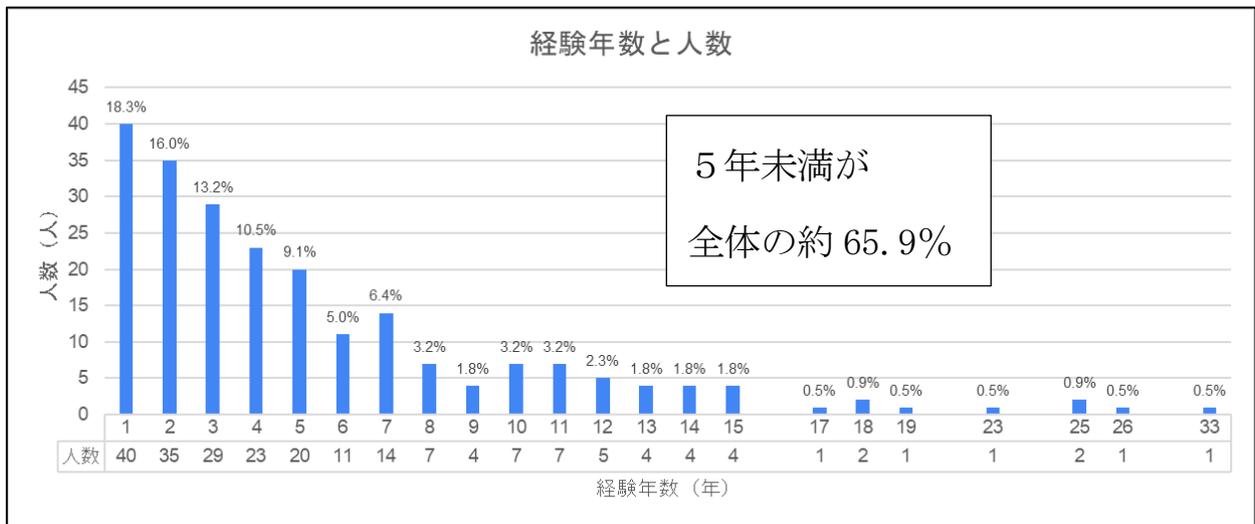
3. 開催場所

オンライン配信（北海道立生涯学習推進センター 創作実習室、講師室、所長室）

4. 参加人数

228名

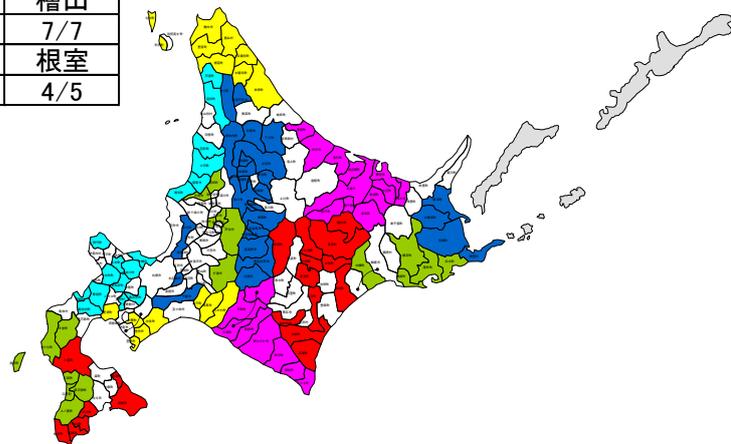
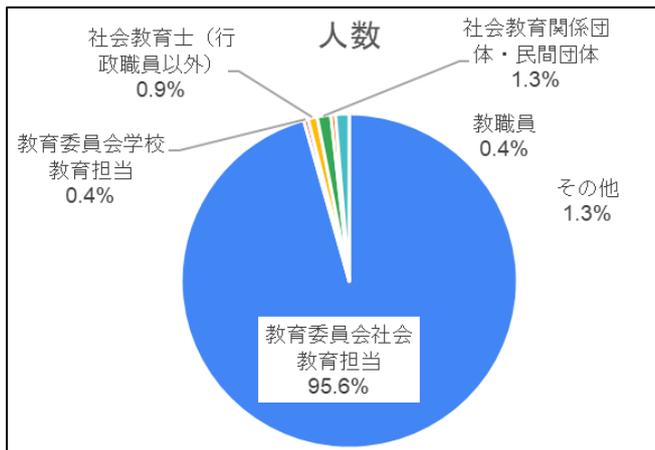
5. 参加者の社会教育、生涯学習に携わっている経験年数



6. 参加市町村数

空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山
7/24	3/8	11/20	8/11	7/7	8/11	7/7
上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室
19/23	6/8	8/10	12/18	12/19	5/8	4/5

7. 参加区分



## 8. プログラム

時間	プログラム	内 容
11:50～12:20	受 付	Zoom への入室
12:20～12:25	オープニング	イメージングビデオ ・本日の流れ ・事例発表者の紹介
12:30～14:00	(1)実践事例発表	生涯学習・社会教育に関する実践事例発表を聞く ☞「北海道社会教育G P (グッドプラクティス)」を選出
14:10～15:30	(2)パネディスカッション	東北6県の取組事例から社会教育的視野を広げるパネディスカッション ☞「ポストコロナ・ウィズコロナ時代の社会教育行政について」
15:40～16:40	(3)フリーディスカッション	フリーディスカッションで社会教育への理解を深める ☞参加者の掲げる課題についてトークルームでディスカッション
16:50～17:00	クロージング	「北海道社会教育G P (グッドプラクティス)」表彰 閉会挨拶：北海道社会教育主事会協議会長

### (1) 実践事例発表 12:30～14:00

- ・道内における生涯学習・社会教育に関する実践事例をオープンな形で発表
- ・口頭発表（個人発表・共同発表）10分間、質疑7分間、発表者紹介及び入替時間3分間
- ・参加者は分科会にこだわらず、自由に事例発表の視聴が可能
- ・クロージングで参加者の投票により、G P (グッドプラクティス) を選出
- ・発表資料（概要）を道立生涯学習推進センターのホームページで公開

#### 分科会A 座長：国枝 知（北海道立生涯学習推進センター主査）

時間	分野	題 目	発表者	所 属
12:30 ～12:50	生涯学習・ 社会教育人材	学校・地域が連携・協働を図りながら、地域住民とともに目指す地域づくり	○山本 恵一郎	むかわ町教育委員会
12:50 ～13:10	生涯学習・ 社会教育人材	交流が生み出す地域づくりについて	○板坂 勇	厚沢部町教育委員会
13:10 ～13:30	その他	J A 青年部合同事業「あつまれ！ベンチャーキッズ！」～植付・栽培・販売・加工体験～	○石塚 英一	大樹町教育委員会

#### 分科会B 座長：加藤 雅司（北海道立生涯学習推進センター社会教育主事）

時間	分野	題 目	発表者	所 属
12:30 ～12:50	青少年教育	しりべしジュニアリーダーワークショップ事業	○佐野 英昭 奈良 周弥	後志社会教育主事会 (小樽市教育委員会) (島牧村教育委員会)
12:50 ～13:10	青少年教育	網走の未来を担う HERO(高校生・大学生)が地域を輝かせる	○大野 隼弥 新谷 皐熙	網走市教育委員会 網走南ヶ丘高等学校3年
13:10 ～13:30				
13:30 ～13:50	青少年教育ほか	中高生のまちづくり活動が地域の未来をつくるフォロワーとしての社会教育行政の在り方	○高橋 克磨	上士幌町教育委員会

#### 分科会C 座長：斉藤 萌（北海道立生涯学習推進センター社会教育主事）

時間	分野	題 目	発表者	所 属
12:30 ～12:50	ICT・ 遠隔教育	Zoom による姉妹都市交流、東京都小平市公民館講座「姉妹都市の小平町・北海道をのぞいてみよう」	○長澤 政之	小平町教育委員会
12:50 ～13:10	生涯学習・社会教育 関連施設	ネイパル厚岸主催事業「高等学校生徒会フォーラム」	○角田 淳 小島 雄介	ネイパル厚岸 ネイパル厚岸
13:10 ～13:30	生涯学習・社会教育 関連施設	コロナ禍における事業展開	○荻原 梢	根室市教育委員会
13:30 ～13:50	その他	コロナ禍における社会教育推進の取り組み	○太田 本気	渡島社会教育主事会 (木古内町教育委員会)

(2) パネルディスカッション 14:10～15:30

- ・ポストコロナ・ウィズコロナ時代の社会教育行政について、東北地区6県の生涯学習・社会教育に関する取組事例発表を聞き、北海道外の実践への視野を広げる
- ファシリテーター：長岡 広之（北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課課長補佐）

県名	発表者	所属・職名
青森県	大島 義弘	県教育庁生涯学習課企画振興グループ主任社会教育主事
	工藤 健夫	県教育庁生涯学習課地域連携推進グループ主任社会教育主事
岩手県	久慈 孝	県立生涯学習推進センター所長
宮城県	鎌田 光伸	県教育庁生涯学習課課長補佐（班長）
秋田県	佐々木 泰生	県教育庁生涯学習課主任社会教育主事
山形県	奥山 敦	県教育庁生涯教育・学習振興課長
福島県	渋川 卓也	県教育庁社会教育課長

(3) フリーディスカッション 15:40～16:40

- ・全道の事例発表、東北6県の事例発表を通して、自分の考えを整理し、ふりかえり・共有の時間とする
- ・企画者以外の参加者は自由にトークルームを選択して参加、時間は60分間

No.	テーマ	企画者	所属
1	障害者の生涯学習推進について	古内 誠也	北広島市教育委員会
2	生活習慣の向上	佐々木 憲一	胆振教育局
3	入門部屋（社会教育行政ビギナー向け）	加藤 雅司	道立生涯学習推進センター
4	実践事例発表（分科会A）ふりかえり	齊藤 伸一	檜山教育局
		山崎 浩二	十勝教育局
5	実践事例発表（分科会B）ふりかえり	田尾 和祐	十勝教育局
		稲垣 美香	オホーツク教育局
6	実践事例発表（分科会C）ふりかえり	高橋 枝里子	留萌教育局
		南部 晃宏	渡島教育局

※入門部屋は、「社会教育入門研修プログラム」として、社会教育行政の経験がおおむね3年未満（社会教育主事講習受講前）の方を対象に実施。

## ○ 成果と課題

参加者アンケートをもとに、「テーマ」と「運営方法」について、成果と課題を整理する。

参加者アンケート回収率 63.2%（回答数144件／参加者数228名）

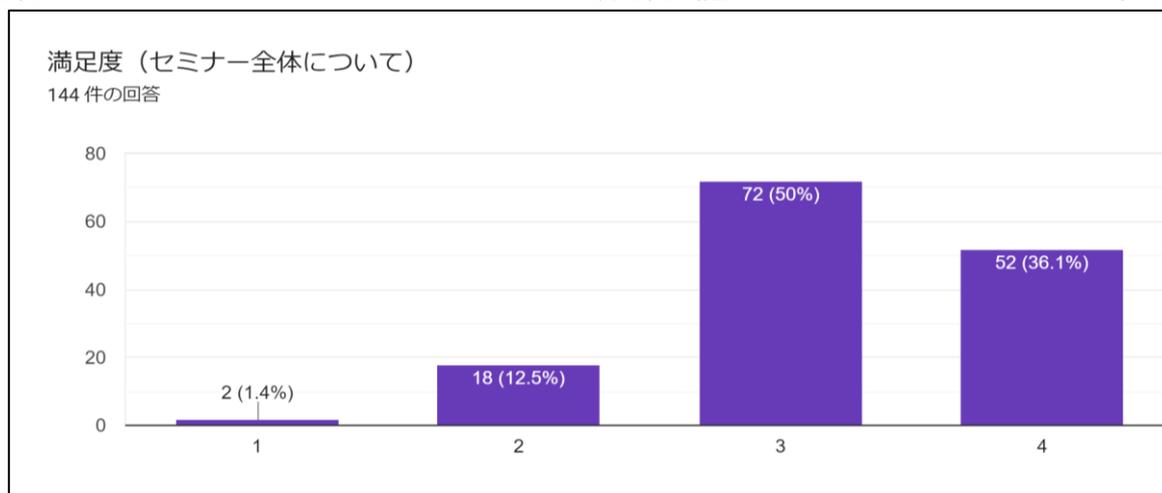
参加者アンケート実施方法 Google フォーム

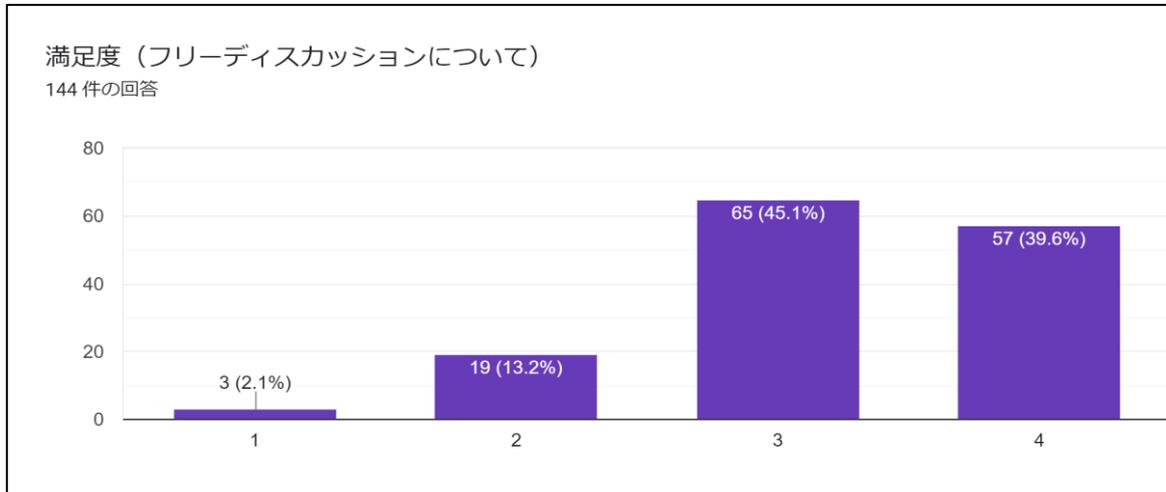
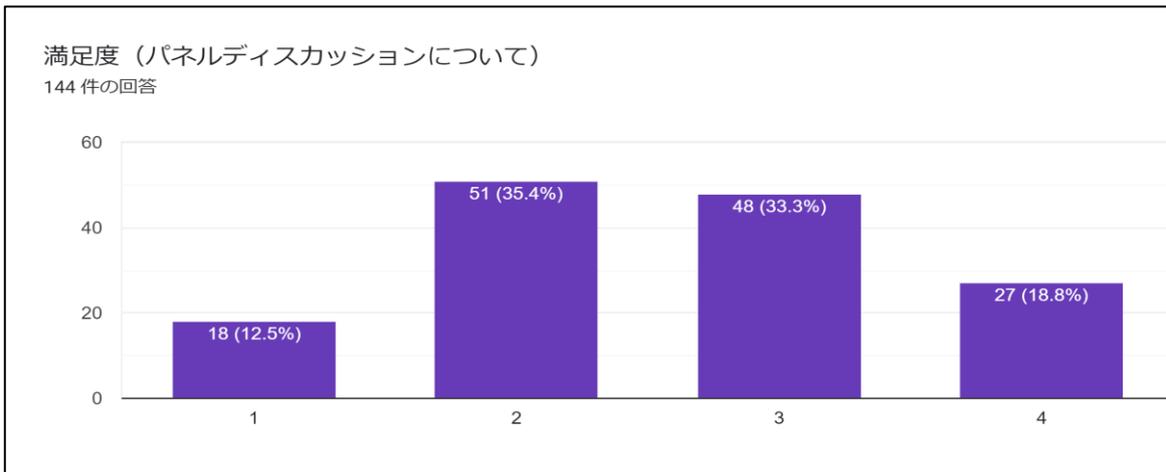
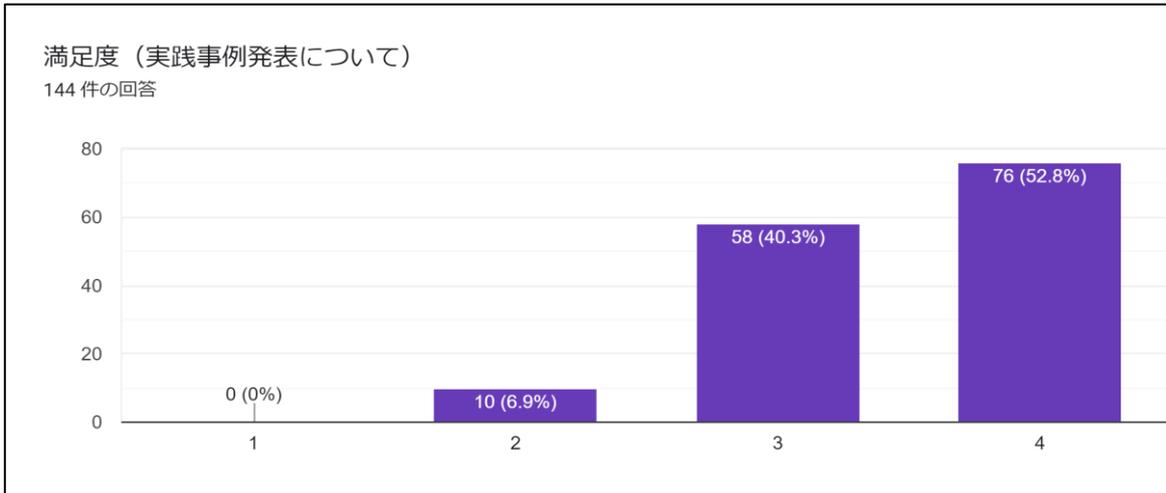
### 1. 内容について

#### (1) アンケート結果

##### ①満足度

満足度（低← 1・2・3・4 →高）





## ②自由記述

- とても勉強になりました。
- 貴重な時間ありがとうございました。大変勉強になりました。
- 有意義な実践交流セミナーだった。
- さまざまな実践や、他県の状況に触れられてよかったです。
- 大変勉強になりました。ありがとうございます。
- 私が担当している子ども会やジュニアリーダーはコロナでなかなか活動できていませんが、魅力的な取り組みをされている事例をいくつも拝見し、勇気をいただきました。オンラインセミナーの運営、大変だったかと思います。ありがとうございました。
- 有意義な研修会でした。参考になりました。
- 実践に集中できていて良かったと思う。
- 長時間ではありましたが、すべてがためになる講話であった。

- 多数の自治体と交流ができてよかった。
- パネルディスカッションは、管轄の市町における実際の事例を聞いてみたかったです。
- 大変参考になりました。
- それぞれの町のコロナ対策と課題、良さを活かして事業を実施している事がよく伝わるセミナーだった。
- コロナ禍の中で、各自治体の工夫を凝らした事例や、実態を聞くことができ有意義でした！
- 全体的に事例等を聴いていてわかるように、このコロナ禍で事業が制限されたりオンライン用の備品購入に悩まされるなど同じ困難を抱えていることを改めて感じました。また、生涯学習を止めないためにも私たちが常に進んでいかなければならないと思いました。
- 他市町の事例をたくさん聞くことができ、また東北の課題なども詳しく知ることができたため。
- 多くの事例を聞くことができ大変学びのあるセミナーでした。
- 様々な事例を発表していただき、参考になりました。
- 他市町村と直接交流はできなかったが、他地域の実践事例を聞くことができる貴重な機会だった。
- 各町の特色のある事例を聞く事ができ大変参考になりました。
- とても実りのある時間となりました。ありがとうございます。
- 他市町村の事例を踏まえ、今後の当町の活動に活かして行けたらと思います。
- 行事やイベントをやるかやらないかは気持ち次第だということが改めて気付かされました。
- 参考になりました。
- 他市町村の取り組み事例について知ることができ、有意義な時間だった。
- 事例もさることながら、同じ志の担当者の方がたくさんいらっしゃることが励みになります。
- 企画、運営、発表者の皆さん大変お疲れ様でした。いろいろな話が聞けて勉強になりました。
- 他市町村の活動の内容や、実施後の課題・改善点、今後の実施方法などについて知ることができて良かったです。
- 今回のセミナーは、全体としては受けてよかったと思った。
- 今の社会教育のトレンドや流れが理解できました。コロナ禍でどこの市町村も苦慮しており、同じ悩みを抱えているのだと思いました。
- たくさんのことを考えさせられる良い機会となりました。ありがとうございました。
- 大変参考になることが多かったです。
- 東北の実践事例など、普段は聞くことのできない事例の紹介などがあり、参考となった。
- 貴重な研修の機会をありがとうございました。
- 貴重な機会になりました。東北6県の内容は、市町村とかけ離れているように思いました。
- 色んな自治体の実践発表が聞けて良かったです。また、コロナ禍で社会教育に入った同年代の人とも少ししゃべれて良かったです。
- 実践交流セミナーなので、もっと事例について普段聞けないような苦勞・参加者の反応等具体的な話をしてもらえるようにしてほしいと思います。
- 実践事例ばかりで、理論的な部分が薄いように感じた。大学教員なり、文科省職員なりの講演があってもよかったのでは。
- 道内の実践事例の時間が足りない。
- 全道市町村の事例を多く聞きたかった。東北各県の発表は、不要だと思った。
- 前半のフォーラムと後半の実践交流セミナーが抱き合わせになっていることにも違和感を感じた。地域学校協働活動に焦点を当てるなら、内容を絞るべきではないか。
- パネルディスカッション：東北6県の内容が幾分もったいなく感じた。基本的にコロナによる現況はどこも変わらない前提条件として説明を省き、その上で行っている特色へと人端飛びで本題に入った方が、双方にとってより良い内容となったのではないかと感じた。
- パネルディスカッションの時間をフリーディスカッションに向けてほしかったです。
- 事例発表、グループ交流は良かったが、パネルディスカッションはこの研修と趣旨が違うと思いました。
- 北海道・東北の部分は、必要なかったと思います。
- 東北6県のPDなくてもよかったのでは？実績発表とFDの間に入ったことによりトーンダウンしたのではと思いました。
- 東北の事例、グッドプラクティス、参加者にとって有意義だったのか、振り返ってほしい。
- 全体的に進行が滞っていると感じた。音声や映像が不明瞭な場面が多く見受けられ、内容が理解しづらかった。(午前のフォーラム)
- パネルディスカッション以外は、勉強になった。

## (2) 成果と課題

セミナー全体を通じた満足度は、86.1%の参加者が「満足」又は「やや満足」と回答している。

プログラムの内容別に見ると、「実践事例発表」については、93.1%の参加者が「満足」又は「やや満足」と回答しており、「フリーディスカッション」については、84.7%の参加者が「満足」又は「やや満足」と回答するなど、参加者のニーズに合ったプログラムを提供できたといえる。

一方、「パネルディスカッション」については、52.1%の参加者が「満足」又は「やや満足」と回答しており、「他県の実践事例を知る機会となり参考になった」という意見はあるものの、実践事例として扱った事業が県規模のものが多く、市町村単位の取組事例が少なかったことから、参加者のニーズに応えることが出来なかったと考えられる。

また、社会教育、生涯学習に携わっている経験年数が、5年未満の職員が全体の参加者の65.9%を占めており、若手職員を対象にしたプログラムが必要である。フリーディスカッションにおいて、経験年数が浅い参加者を対象に「社会教育入門研修プログラム」を実施したが、今後も同様の対応が必要と思われる。

## 2. 運営方法について

### (1) アンケート結果

- スムーズなセミナーでとても有意義なセミナーとなりました。
- 内容はもちろんですが、コロナ禍での大規模なオンライン研修の企画、運営方法についても大変勉強になりました。
- オンラインに得意なひと、苦手な人がいるなかでスムーズな進行でした。センターの方の連携がすごい！
- 私が担当している子ども会やジュニアリーダーはコロナでなかなか活動できていませんが、魅力的な取り組みをされている事例をいくつも拝見し、勇気をいただきました。オンラインセミナーの運営、大変だったかと思います。ありがとうございました。
- オンラインでのメリットを生かした内容であった。
- オンラインの強みが活かされた研修会だった。
- ZOOMのメリットが活かされたセミナーだった。
- オンラインという制約の中で、実施ができたことが一番だと思います。
- 内容はもちろんですが、コロナ禍での大規模なオンライン研修の企画、運営方法についても大変勉強になりました。
- コロナ禍におけるセミナーなのでオンライン実施で参加しやすかったです。
- 運営お疲れさまでした。参加しやすいセミナーかつわかりやすい内容が多くて助かりました。
- コロナ禍以降に全道規模の研修に参加するのは今回が初めてでしたが、社会教育がICTに順応する環境がだいぶ整備されてきた印象を受けました。
- オンラインで参加できて良いのですが、役場にいるのでどうしても電話対応や打合せが間に入り、入退出を繰り返しながらの参加になってしまいました。
- 多様な他者との交流で視野が広がりました。
- 良い刺激になりました。
- もう少し其々時間が取れると、より理解が深まったと思いました。
- 内容は良かったのですが、午前からの続きのような参加のため、疲労感がすごいです…
- 開始時間について、昼休憩中からの開始はいかがなものか。参加者の働き方に合わせた方がいいのでは。(今回のようになるのであれば、1日日程で。)
- 全体を通じて、時間に追われていたように感じました。午後から開催なので時間の制約はあると思いますが、分科会形式をとるのであれば、1つの分科会で、1～2の事例発表を行い、質疑応答し、フリーディスカッションとして約2時間とるようにしていいと思います。
- 発表資料がほしいです。
- 全体的に1つ1つの事例に関する説明の時間が短い。資料もなかったり、あっても概要版であったりしてわかりづらかった。
- 業務の都合で中抜けしたことで聞き逃した部分も多かったのもので、ユーチューブ等で視聴できるようにしていただけるとありがたいです。

- 回線が弱くて気になりました。やはり、直接、顔を合わせて行いたいです。

## (2) 成果と課題

オンラインで開催したことや運営方法について、アンケートの記述内容からは、多くの参加者が肯定的に受け入れられたと考える。長引くコロナ禍において、各市町村のICT環境も整い、全道規模の研修会についても、オンラインによる開催がニューノーマルになりつつある。

スケジュールについては、午前中の「地学協働推進活動フォーラム」から引き続き参加された人にとっては、タイトなスケジュールとなり、もう少しゆとりのある時間の設定を求める声が多かったことから改善が必要と考える。

また、実践事例の発表資料について、提供を求める声があり、後日、発表者から資料を提供していただき、当センターのHPに掲載するなどして対応した。